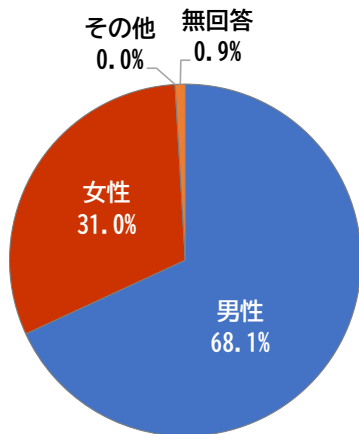


資料1 住民意識調査結果の概要

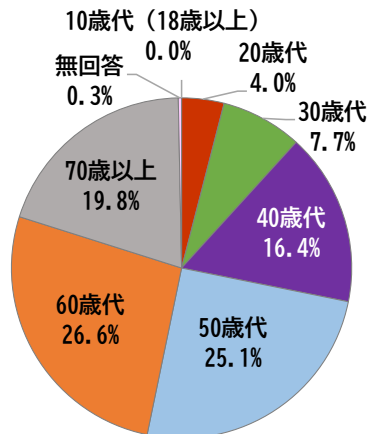
1. あなたご自身のことについてお伺いします。

(1) 性別



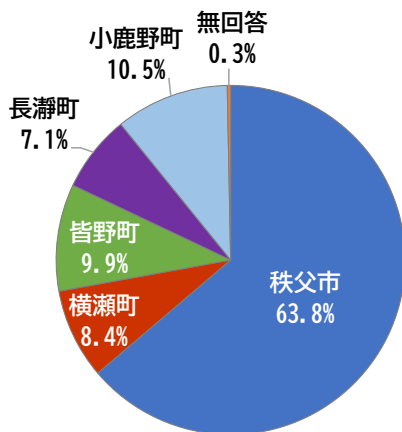
(回答数：323人)

(2) 年齢



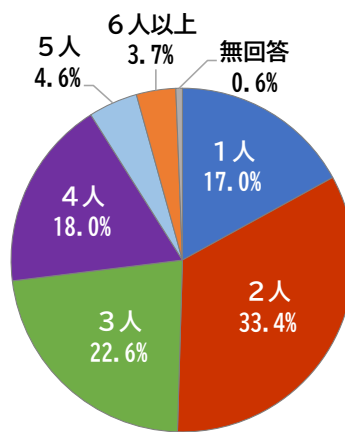
(回答数：323人)

(3) 居住地域



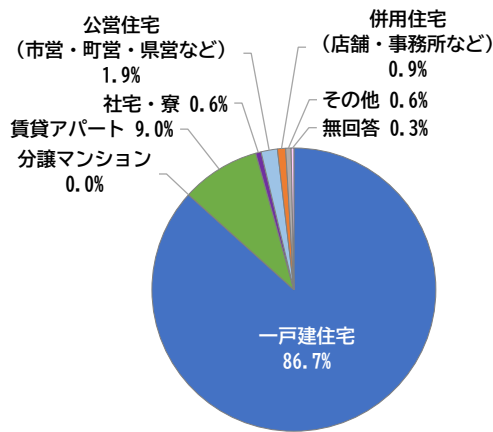
(回答数：323人)

(4) 世帯人数



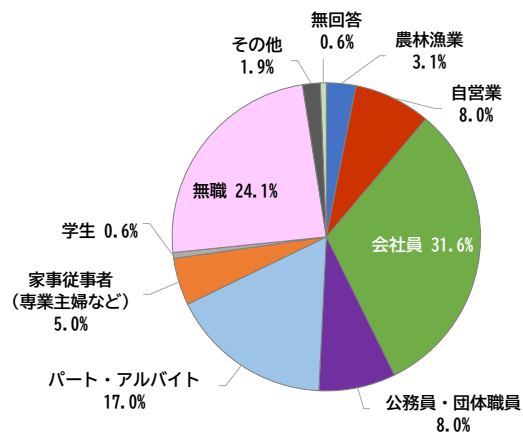
(回答数：323人)

(5) 居住形態



(回答数：323人)

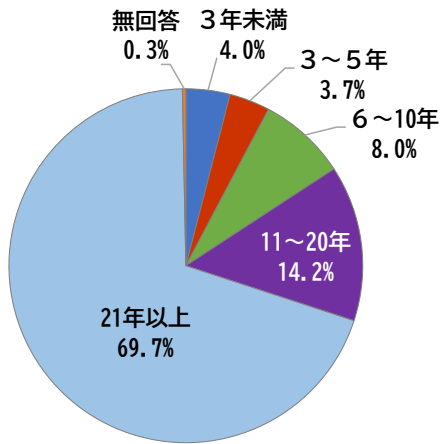
(6) 職業



(回答数：323人)

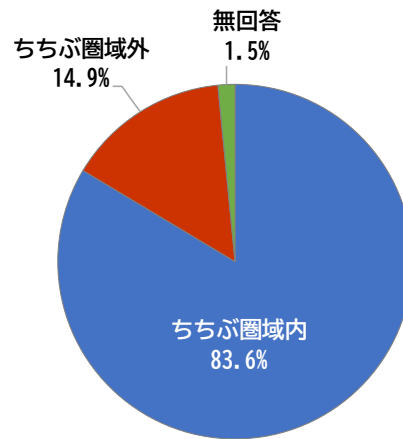
※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

(7) 地域居住年数



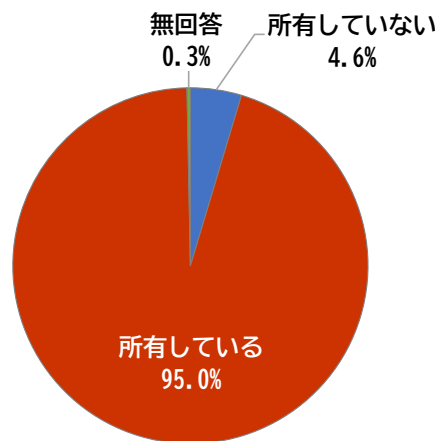
(回答数：323人)

(8) 日中活動している主な場所



(回答数：323人)

(9) 車の所有（世帯所有含む）



(回答数：323人)

【所有している台数】

車種	台数				無回答	回答者数	非該当	合計
	1台	2台	3台	4台以上				
ガソリン車	107人	117人	42人	15人	26人	307人	16人	323人
ディーゼル車	12人	2人	0人	0人	293人	307人	16人	323人
ハイブリッド車 (HV)	52人	4人	1人	0人	250人	307人	16人	323人
電気自動車 (EV)	3人	0人	0人	0人	304人	307人	16人	323人
その他	1人	0人	0人	0人	306人	307人	16人	323人

【車の使用年数】

車種	使用年数					無回答	回答者数	非該当	合計
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上				
ガソリン車	4人	42人	108人	92人	19人	16人	281人	42人	323人
ディーゼル車	0人	4人	7人	1人	1人	1人	14人	309人	323人
ハイブリッド車 (HV)	0人	26人	23人	3人	0人	5人	57人	266人	323人
電気自動車 (EV)	0人	3人	0人	0人	0人	0人	3人	320人	323人
その他	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	322人	323人

※所有している車両が2台以上の場合は、使用年数が長いものを記入しています。

【その他の回答例】

- 大型バイク（1台/6年）

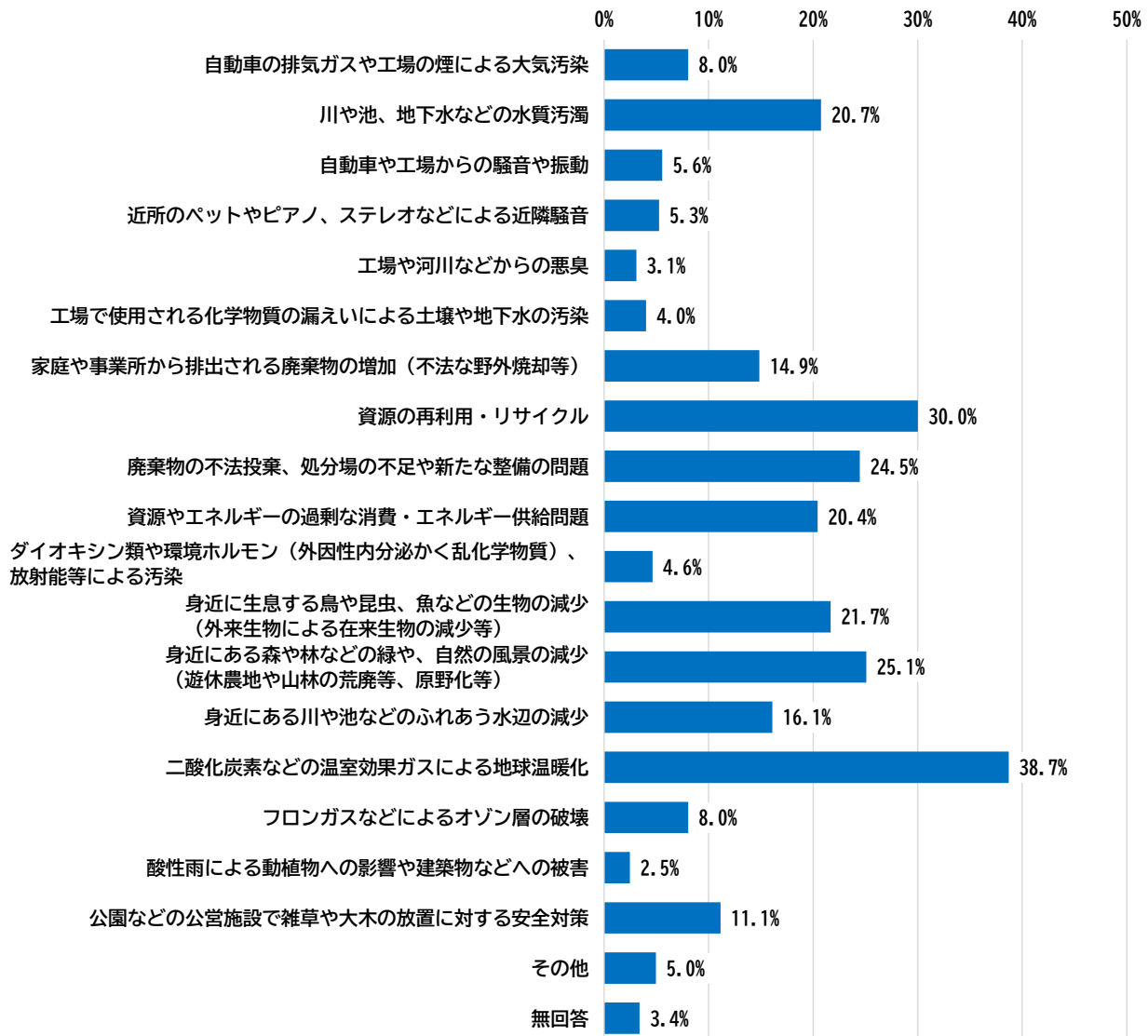
※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

2. ちちぶ圏域の環境で感じていることについてお伺いします。

問1. あなたが特に関心の深い（問題意識が高い）環境問題はどれですか。

次の項目のうち、あてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

特に関心の深い（問題意識が高い）環境問題では、「二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化」が38.7%と最も多く、次いで「資源の再利用・リサイクル」が30.0%、「身近にある森や林などの緑や、自然の風景の減少（遊休農地や山林の荒廃等、原野化等）」が25.1%となっています。



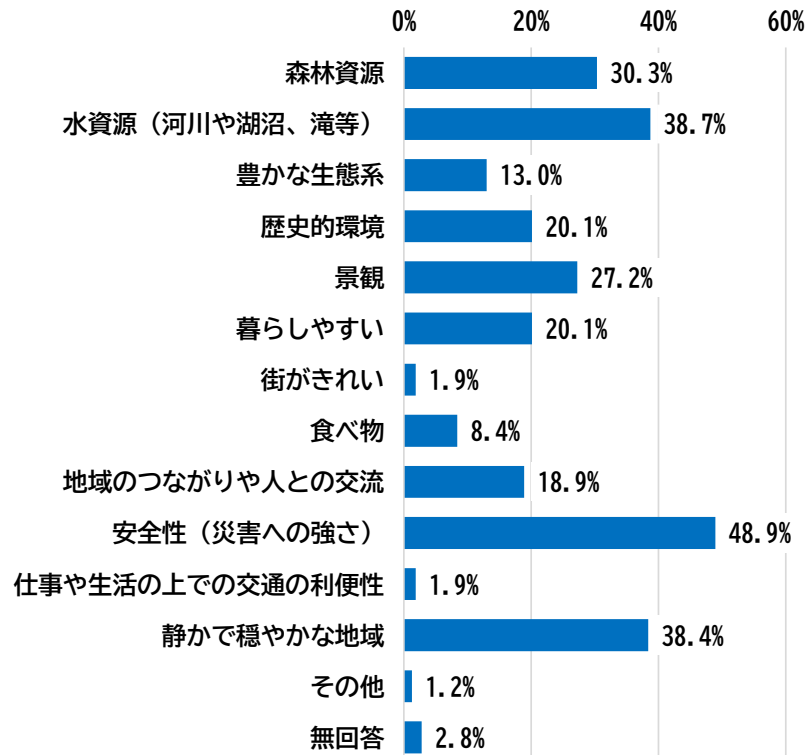
(回答数：323人)

【その他の回答例】

- 暖炉の煙や近所の人のごみを燃やす臭い
- 動物（猿や鹿等）による作物への被害
- インフラの整備
- 「公園などの公営施設で雑草や大木の放置に対する安全対策」において清掃されていない
- 農薬による人体、虫、魚への影響
- 空き家、空き地の管理
- 林道への家電製品の不法投棄

問2. ちちぶ圏域に暮らしながら、どのようなところに“秩父ならではの”魅力を感じますか。
次の項目のうち、あてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

“秩父ならではの”を感じる魅力では、「安全性（災害への強さ）」が48.9%と最も多く、次いで「水資源（河川や湖沼、滝等）」が38.7%、「静かで穏やかな地域」が38.4%となっています。



（回答数：323人）

【その他の回答例】

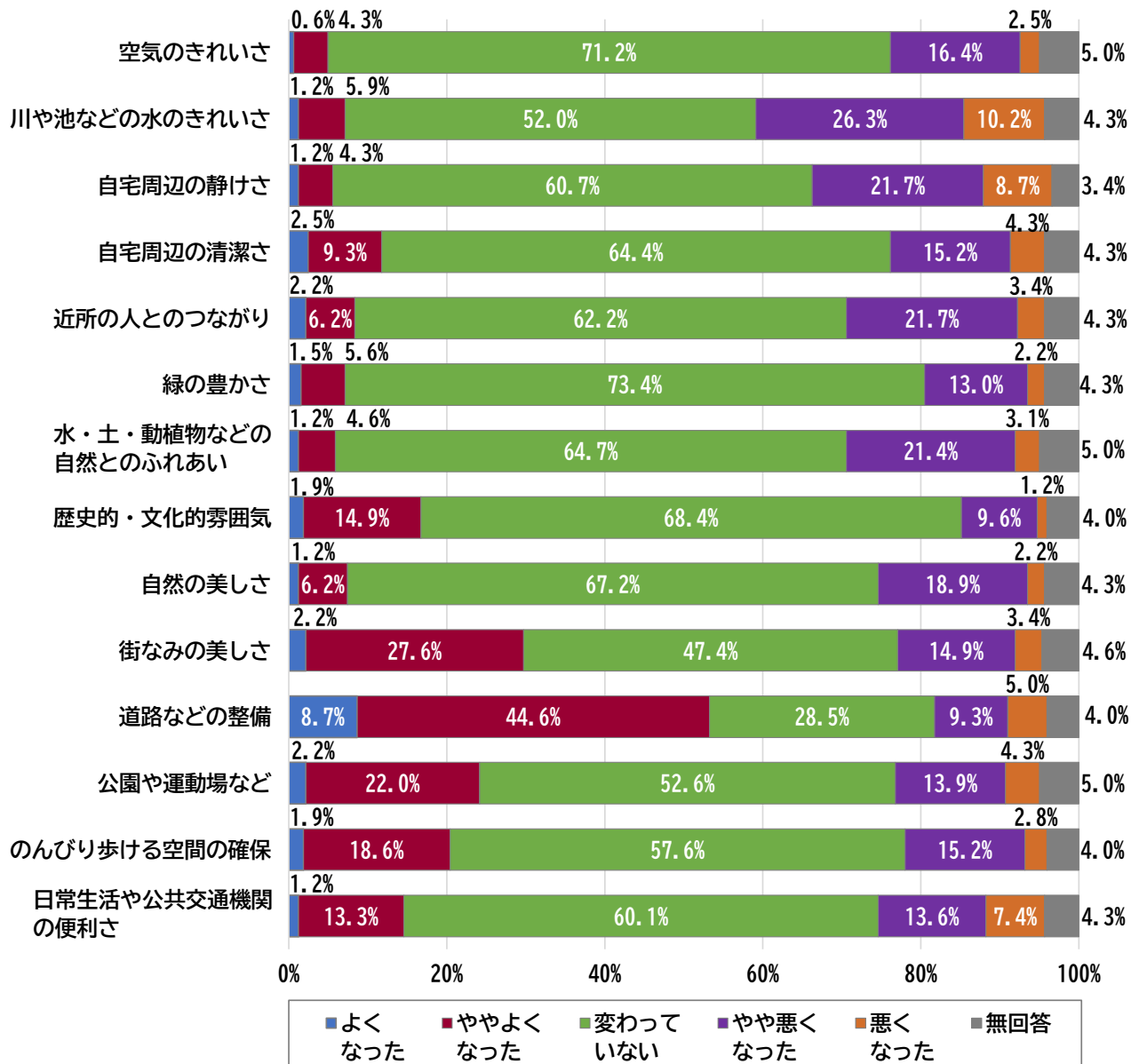
- 何の魅力もない
- 輩出芸能人の多さ
- 祭などの環境資源の多さ

問3. 現在お住まいの地域の環境が、10年前と比べてどのように変化したかについて、①～⑭の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

※居住10年未満の場合は住み始めと比較した変化についてお答えください。

現在住んでいる地域の環境が、10年前と比べてどのように変化したかでは、「よくなった」「ややよくなった」を合わせた『よくなった』という回答では、「道路などの整備」が最も多く、次いで「街なみの美しさ」、「公園や運動場など」となっています。

一方で、「やや悪くなった」「悪くなった」を合わせた『悪くなった』という回答では、「川や池などの水のきれいさ」が最も多く、次いで「自宅周辺の静けさ」、「近所の人とのつながり」となっています。

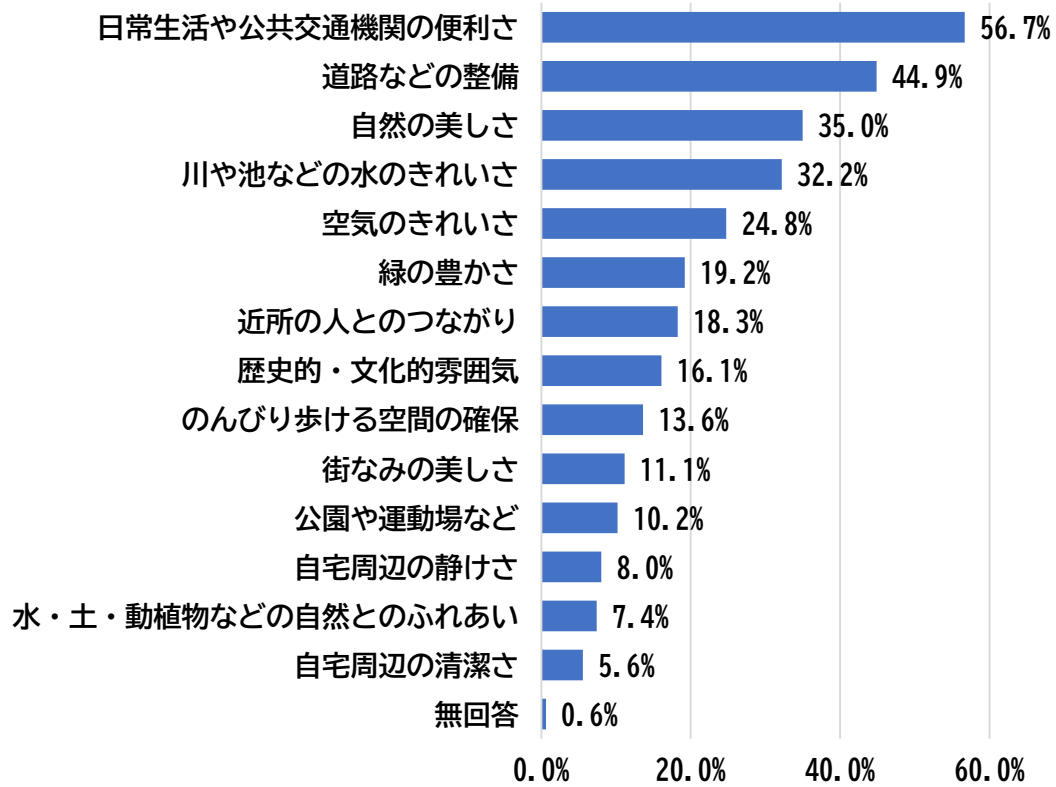


(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

問4. 問3の①～⑭の項目のうち、将来のちちぶ圏域に望む姿として、特に重要だと思うものを3つ選び、その番号を回答欄に記入してください。

将来のちちぶ圏域に望む姿として、特に重要だと思うものでは、「日常生活や公共交通機関の便利さ」が56.7%と最も多く、次いで「道路などの整備」が44.9%、「自然の美しさ」が35.0%となっています。

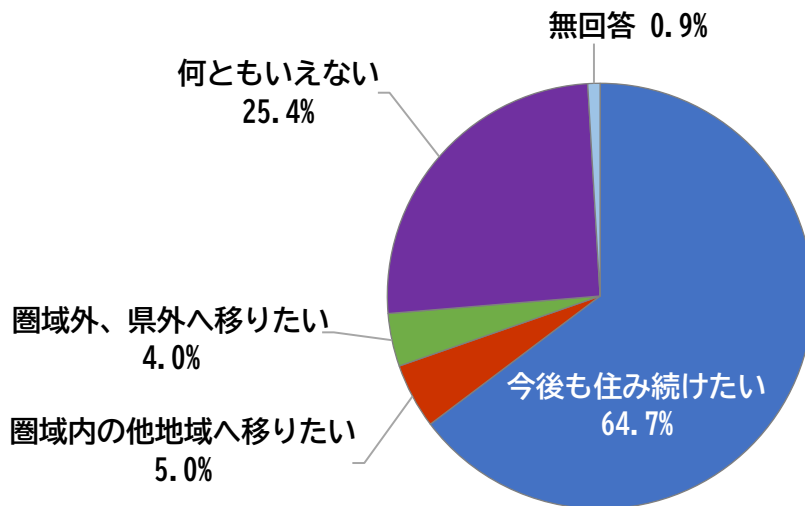


(回答数：323人)

問5. あなたは、現在お住まいの地域に今後も住み続けたいですか。あなたのお考えに近いものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

現在住んでいる地域に今後も住み続けたいと思うかでは、「今後も住み続けたい」が64.7%と最も多くなっています。

また、「何ともいえない」が25.4%となっています。



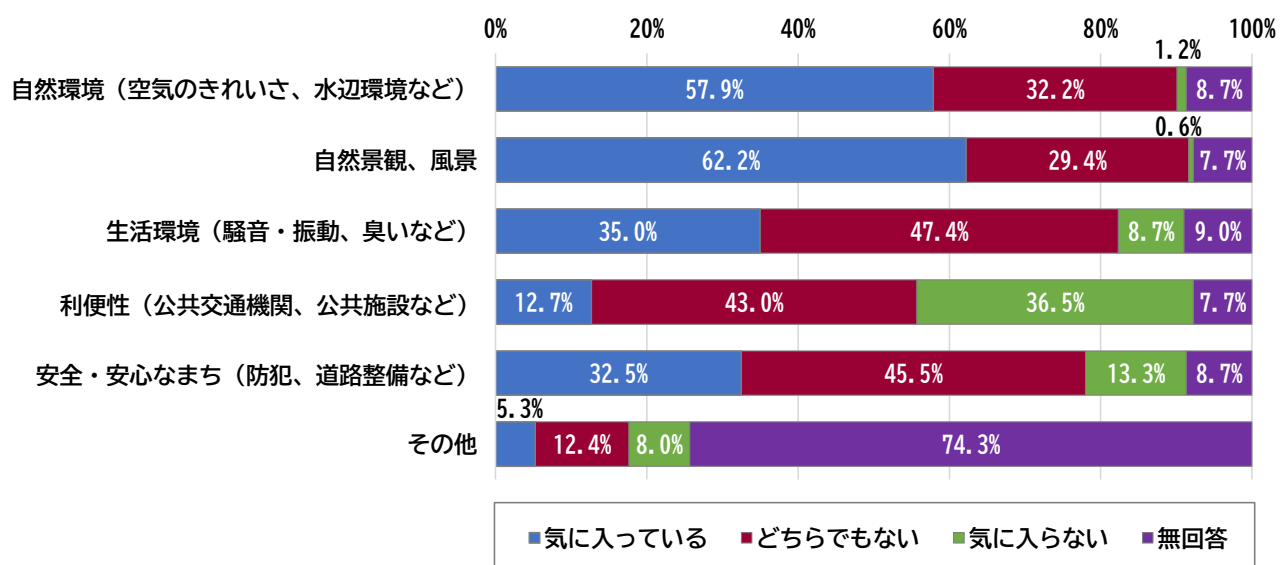
(回答数：323人)

問6. 問5でお答えいただいた理由について、①～⑥の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

現在住んでいる地域に対しての考え方の理由では、「気に入っている」の回答では、「自然景観、風景」が最も多く、次いで「自然環境（空気のきれいさ、水辺環境など）」となっています。

一方で、「気に入らない」の回答では、「利便性（公共交通機関、公共施設など）」が最も多く、次いで「安全・安心なまち（防犯、道路整備など）」となっています。

「どちらでもない」の回答では、「生活環境（騒音・振動、臭いなど）」が最も多くとなっています。



(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

【その他の回答例】

■気に入っている

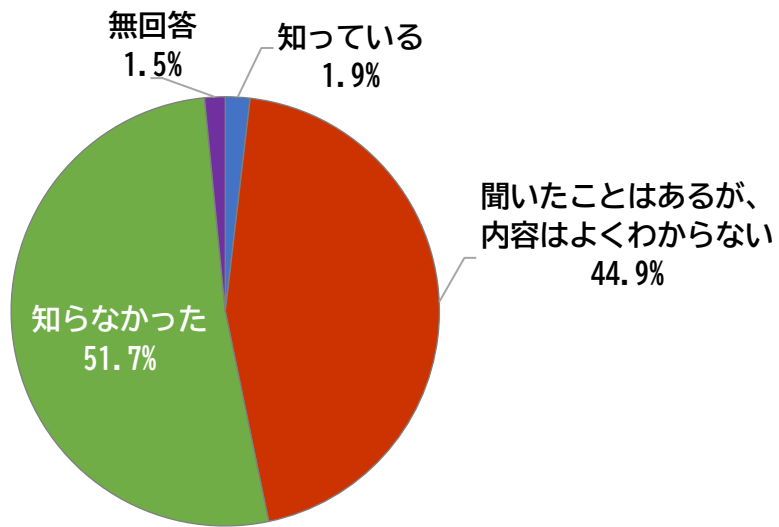
- 先祖伝来の土地（含墓地）
- お店にもよるが物価が比較的安い
- 近所の人とのつながり
- 文化、祭り
- 子育て環境
- 地震等の自然災害に強い

■気に入らない

- 観光シーズンにおける道路の渋滞
- 下水道の整備
- 人口減少による過疎化
- 医療・病院
- 排他的雰囲気
- 子供が自分たちで行って遊べる公園がほぼない
- 河川でのごみ問題
- 空き家、空き地などの放置

問7. あなたは、ちちぶ環境基本計画についてご存じですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

ちちぶ環境基本計画を知っているかでは、「知っている」が1.9%、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が44.9%、「知らなかった」が51.7%となっています。



(回答数：323人)

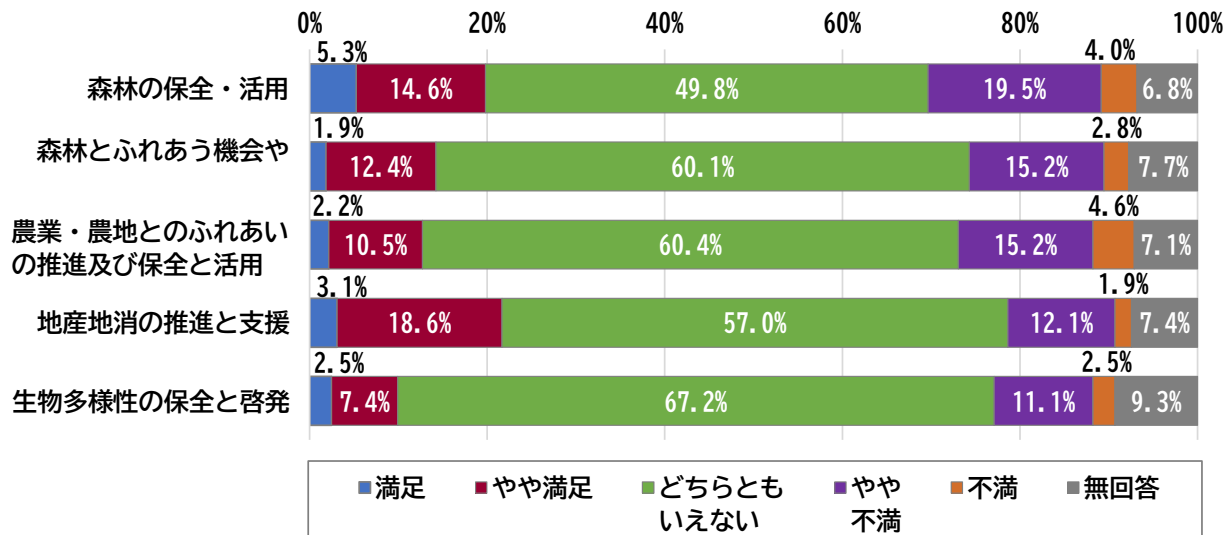
問8. ちちぶ環境基本計画では、「豊かな自然を守り、多様な生きものが共生するまち」、「澄んだ空気と水に恵まれた安心して健康な暮らしができるまち」、「循環型社会が進み、歴史文化が薫るまち」、「地域資源を活用した持続可能な低炭素なまち」、「パートナーシップを進める、誰もが参加したくなる環境活動の盛んなまち」の5つの基本目標を設定しています。そこで、圏域で実施されている次の取組（各項目）について、満足度からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。また、その取組について、今後の重要度からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

【豊かな自然を守り、多様な生きものが共生するまち】

満足度

【豊かな自然を守り、多様な生きものが共生するまち】への取組の満足度について、「満足」「やや満足」を合わせた『満足』（以下同様）という回答では、「地産地消の推進と支援」が最も多くなっています。

一方、「地産地消の推進と支援」以外では、「やや不満」「不満」を合わせた『不満』（以下同様）という回答が『満足』を上回っています。

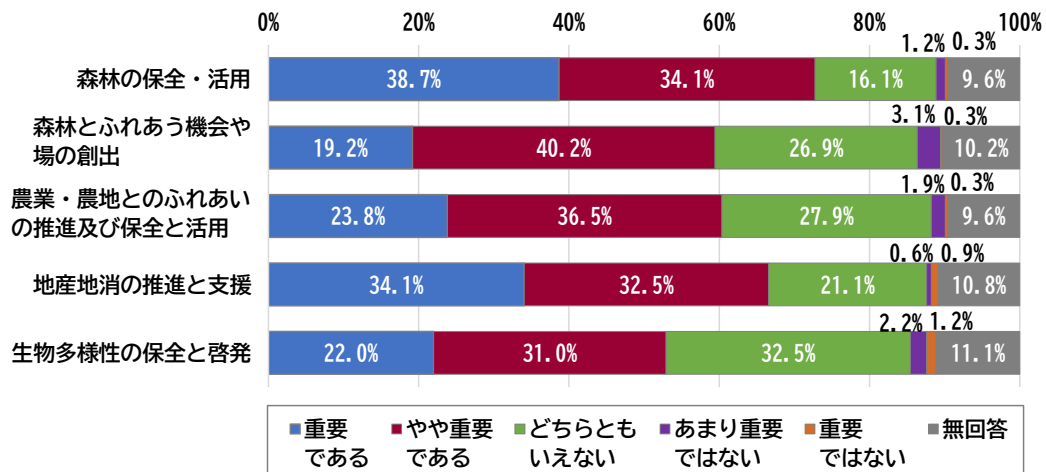


(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

重要度

【豊かな自然を守り、多様な生きものが共生するまち】への取組の重要度について、「重要である」「やや重要である」を合わせた『重要である』（以下同様）という回答では、「森林の保全・活用」が最も多く、次いで「地産地消の推進と支援」、「農業・農地とのふれあいの推進及び保全と活用」となっています。



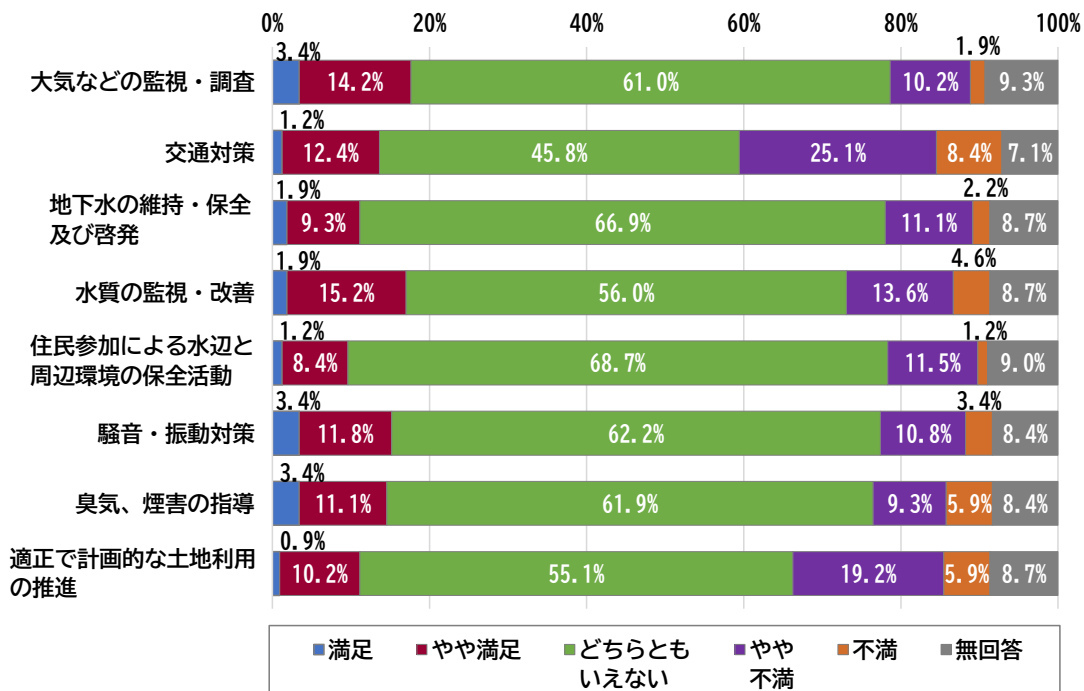
(回答数：323人)

【澄んだ空気と水に恵まれた安心で健康な暮らしができるまち】

満足度

【澄んだ空気と水に恵まれた安心で健康な暮らしができるまち】への取組の満足度について、『満足』という回答では、「大気などの監視・調査」が最も多くなっています。

一方、「大気などの監視・調査」及び「騒音・振動対策」以外では、『不満』という回答が『満足』を上回っています。

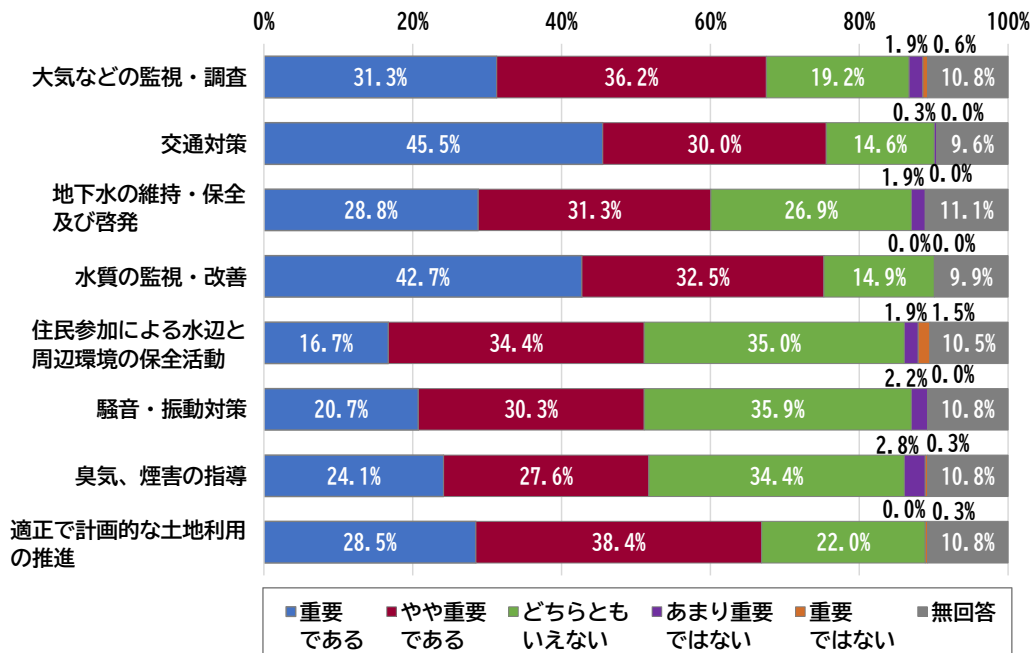


(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

重要度

【澄んだ空気と水に恵まれた安心で健康なくらしができるまち】への取組の重要度について、『重要である』という回答では、「交通対策」が最も多く、次いで「水質の監視・改善」「大気などの監視・調査」となっています。



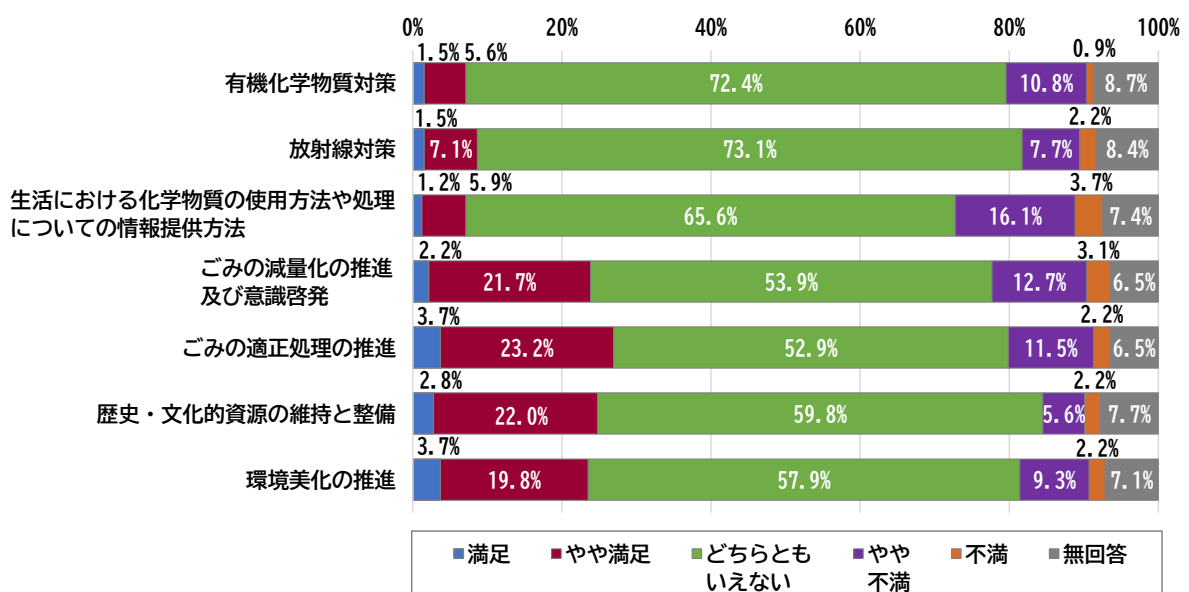
(回答数：323人)

【循環型社会が進み、歴史文化が薫るまち】

満足度

【循環型社会が進み、歴史的な文化が薫るまち】への取組の満足度について、『満足』という回答では、「ごみの適正処理の推進」が最も多くなっています。

一方、「有機化学物質対策」「放射線対策」及び「生活における化学物質の使用方法や処理方法についての情報提供」では、『不満』という回答が『満足』を上回っています。

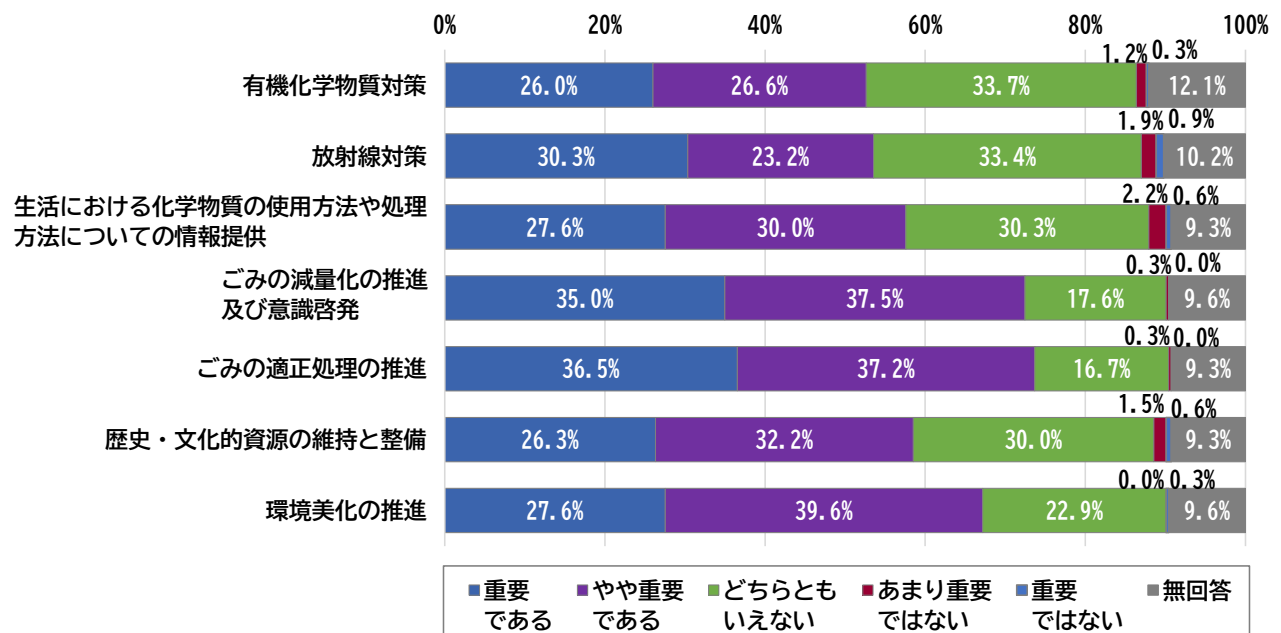


(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

重要度

【循環型社会が進み、歴史文化が薫るまち】への取組の重要度について、『重要である』という回答では、「ごみの適正処理の推進」が最も多く、次いで「ごみの減量化の推進及び意識啓発」、「環境美化の推進」となっています。



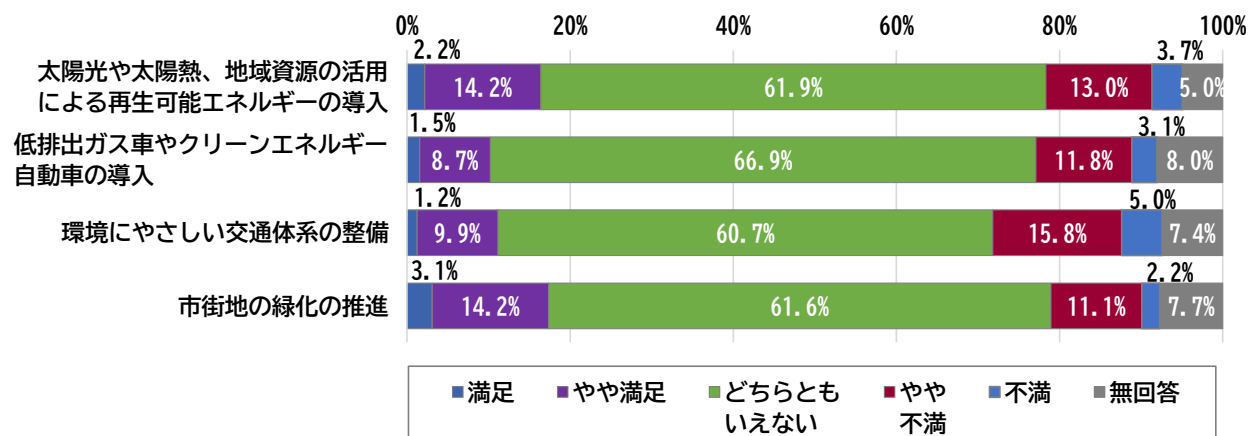
(回答数：323人)

【地域資源を活用した持続可能な低炭素なまち】

満足度

【地域資源を活用した持続可能な低炭素なまち】への取組の満足度について、『満足』という回答では、「市街地の緑化の推進」が最も多くなっています。

一方、「市街地の緑化の推進」以外では、『不満』という回答が『満足』を上回っています。

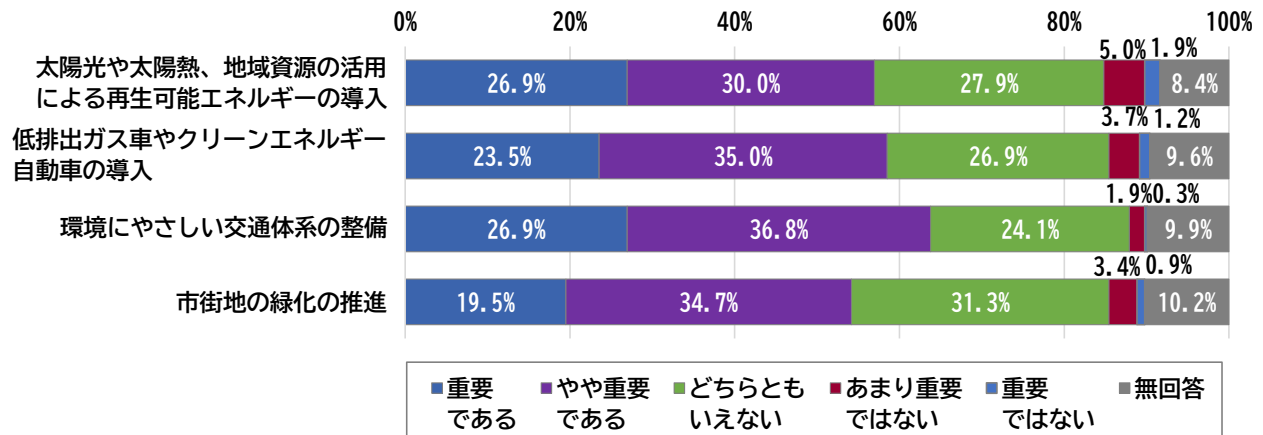


(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

重要度

【地域資源を活用した持続可能な低炭素なまち】への取組の重要度について、『重要である』という回答では、「環境にやさしい交通体系の整備」が最も多く、次いで「低排出ガス車やクリーンエネルギー自動車の導入」「太陽光や太陽熱、地域資源の活用による再生可能エネルギーの導入」となっています。



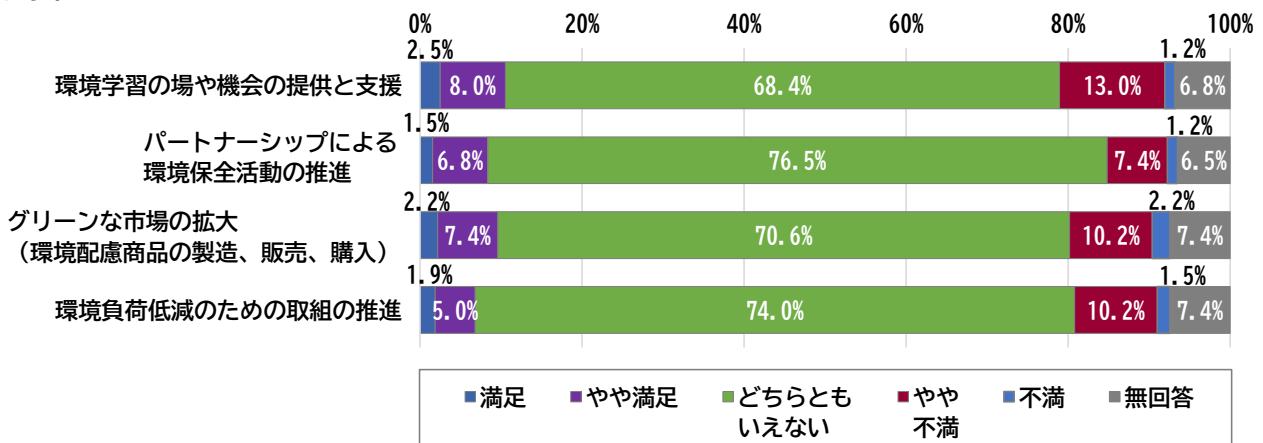
(回答数：323人)

【パートナーシップで進める、誰もが参加したくなる環境活動の盛んなまち】

満足度

【パートナーシップで進める、誰もが参加したくなる環境活動の盛んなまち】への取組の満足度について、全体的に「どちらともいえない」という回答が、最も多くなっています。

また、『満足』、『不満』という回答共に「環境学習の場や機会の提供と支援」が最も多くなっています。

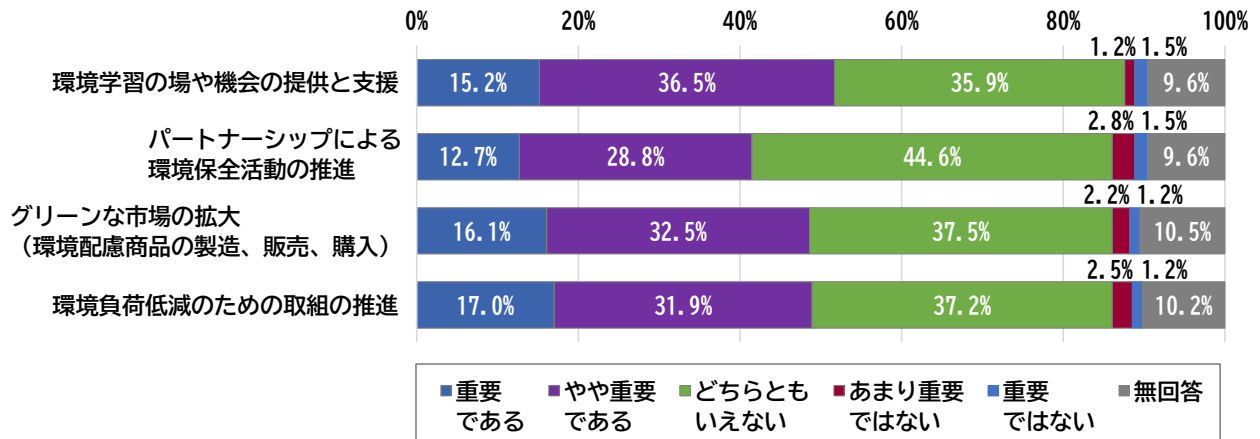


(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

重要度

【パートナーシップを進める、誰もが参加したくなる環境活動の盛んなまち】への取組の重要度について、『重要である』という回答では、「環境学習の場や機会の提供と支援」が最も多く、次いで「環境負荷低減のための取組の推進」、「グリーンな市場の拡大（環境配慮商品の製造、販売、購入）」となっています。

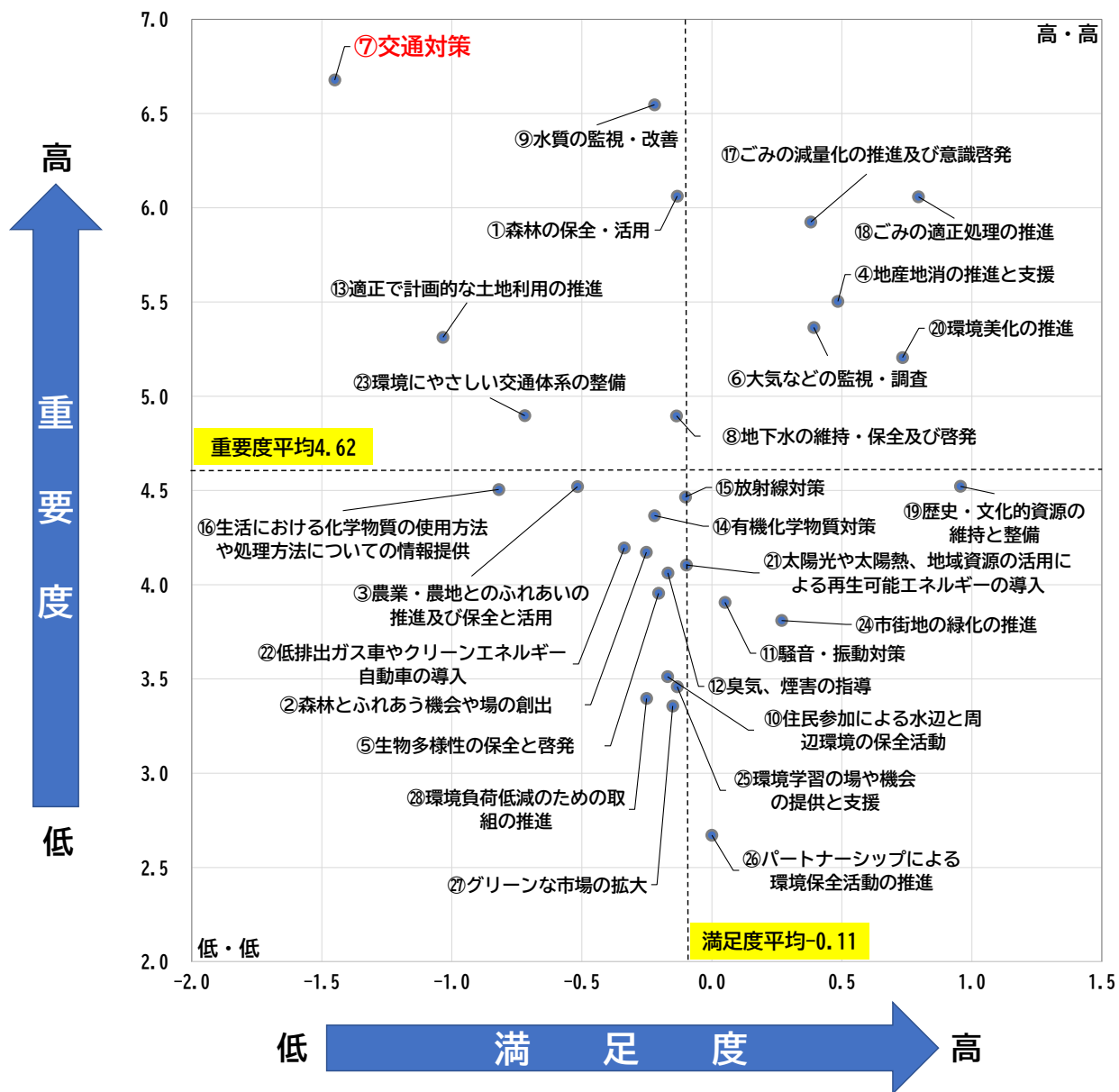


(回答数：323人)

※小数点以下四捨五入のため、合計が必ずしも100%になりません。

【重要度・満足度の加重平均】

問8に記載の各項目①から⑳までの重要度と満足度について、次に示す回答ごとに配分された点数（ウェイト）を各回答の割合に掛けて合計した加重平均で比較したところ、特に圏域の課題と考えられる「重要度が高く満足度が低い」項目は、「⑦交通対策」となりました。



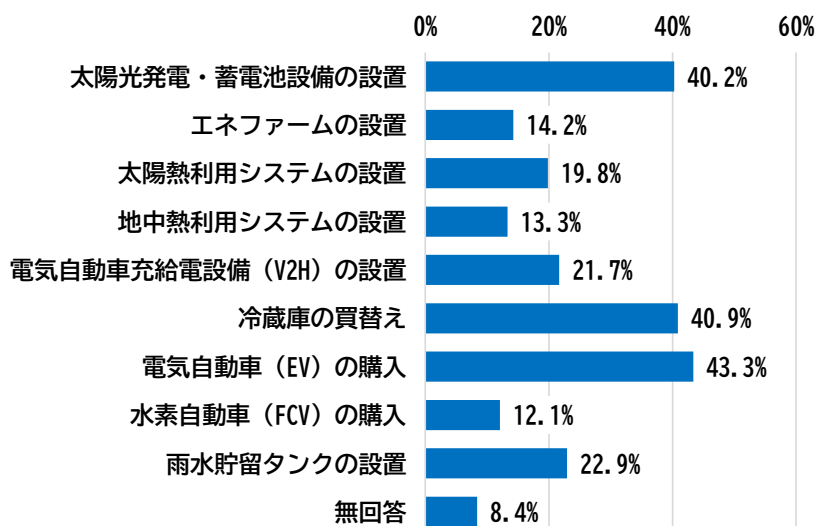
加重平均

- 重要・満足：10点
- やや重要・やや満足：5点
- どちらともいえない：0点
- あまり重要でない・やや不満：-5点
- 重要でない・不満：-10点

3. あなたが取り組んでみたいことについてお伺いします。

問9. 地域の自治体で実施している環境事業に対する補助金や今後新たな補助事業が創設された場合、すぐにでも取り組みたい、または今後取り組んでみたいことはありますか。次の中から3つまで選び、その番号に○をつけてください。

地域の自治体で実施している環境事業に対する補助金や今後新たな補助事業が創設された場合、すぐにでも取り組みたい、今後取り組んでみたいことでは、「電気自動車（EV）の購入」が43.3%と最も多く、次いで「冷蔵庫の買替え」が40.9%、「太陽光発電・蓄電池設備の設置」が40.2%となっています。

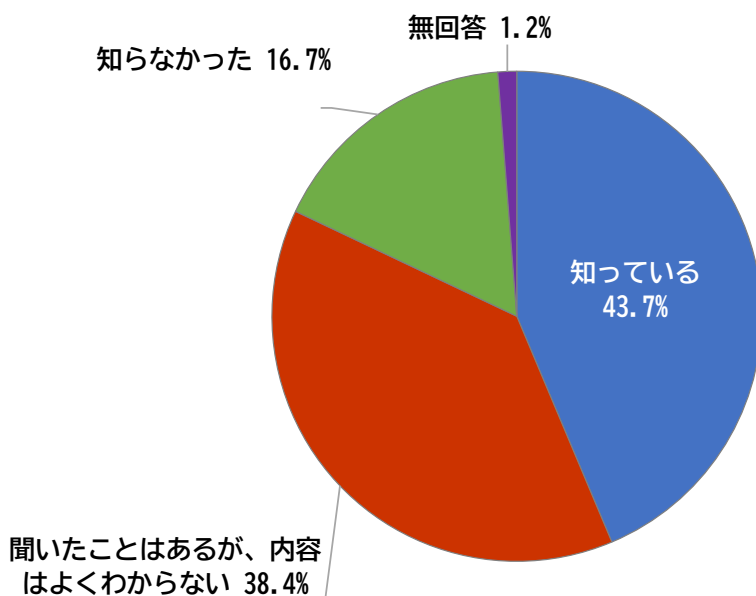


(回答数：323人)

4. SDGs についてお伺いします。

問10. SDGs について、次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

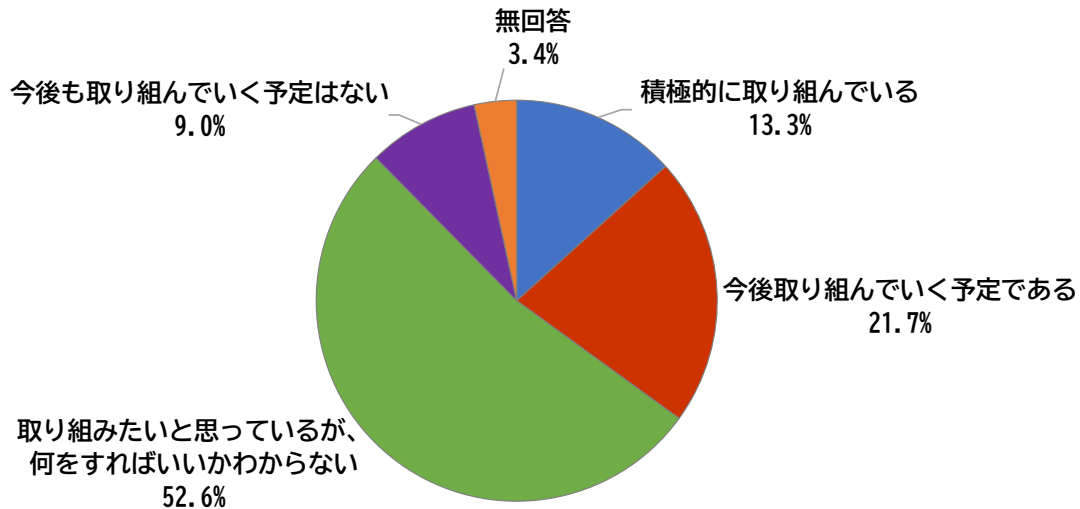
SDGs を知っているかでは、「知っている」が43.7%、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が38.4%、「知らなかった」が16.7%となっています。



(回答数：323人)

問 11. SDGs の取組意識について、次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

SDGs への取組意識について、「取り組みたいと思っているが、何をすればいいかわからない」が 52.6%と最も多く、次いで「今後取り組んでいく予定である」が 21.7%、「積極的に取り組んでいる」が 13.3%となっています。



(回答数：323人)

このアンケートや今後策定するちちぶ圏域の環境基本計画、その他ちちぶ圏域の環境に関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

〈回答例〉

- ちちぶ環境基本計画はとてもすばらしい目標であるが、ただの目標にせず、実践化を大いに推進してほしい。例えば、「豊かな自然を守り」といいながら遊休農地に太陽光発電設備が設置された場合、それだけで自然景観が損なわれてしまうため、自然景観を守る対策も考えるべきだと思う。【男性・60歳代】
- 子供達が安心して遊べるように荒川、横瀬川の水質環境の保全をしてほしい。【男性・50歳代】
- 小型焼却炉は大気汚染防止のために撤去されてきたが、暖炉の煙による同様の被害については意識・認識が低いと思う。【男性・40歳代】
- 環境施策の推進には、住民一人ひとりが地域の環境について意識することが重要だと思う。環境基本計画を知らない住民も多いので、学校の授業や地域の集まりなどを利用して周知してみてもどうか。【男性・40歳代】
- 自然を利用したアクティビティの種類や規模を豊富にし、秩父がアクティビティに対して寛容な地域になれば嬉しい。自然を知り、楽しみ、利用し恩恵を受けるからこそ自然を大切に、愛していく事につながると思う。【男性・40歳代】
- 生活している中で空家や空地の雑草等が生い茂っていて大変。【男性・40歳代】
- SDGs の言葉や 17 のそれぞれの目標を知っていても、具体的にどこでどのような対策が行なわれているのかは分からない。17 の内容はひとつひとつ全てそのようにありたいと思うが気持ちだけあっても何もできないのもっと強く広めてもらいたい。【女性・60歳代】

- 自然が豊かで良いとは思っているが、もっと観光客や、地域の人にも興味を持てる内容の名物があったらよいと思う。【男性・20歳代】
- 環境保全、環境改善には、大人への啓発と子供への教育が重要だと思う。【男性・60歳代】
- 自家用車がなくても生活できるような公共交通及び医療の充実を図ってほしい。【女性・40歳代】
- 子供達が秩父の自然や昔から受け継がれている物や食べものなどを体験できたり感じられる場所やイベント等がもっとあればよいと思う。【女性・30歳代】
- 住民が環境保全に対して具体的に何を取り組めばよいのか分からないのもっと周知してもらいたい。【男性・50歳代】
- ごみがポイ捨てされているのを見かけることがよくあるので、そのような行動をする人が1人でも減っていけばよいと思う。「ごみはごみ箱へ」という基本的なことをしっかりやらないといけないと思う。【女性・30歳代】
- ごみの野外焼却による煙・悪臭の問題が増えているので対策を考えてほしい。【男性・50歳代】
- 秩父地域全体の「自然環境・安全」は日々生活している中で充分感じている。しかし、道路の騒音及び道路自体の経年劣化等が目立つ気がする。道路環境の中には国道・県道・市道・町道があるが、特に市道・町道の路面の粗悪さが秩父地域全体の質を落としていると思う。近年の観光地としての人気がある一方、国道等から外れた市道・町道での交通事故が増えていると感じる。地域全体の産業の一つである観光のためにも、市道・町道の整備に力を入れてほしい。【女性・50歳代】
- 自然豊かな秩父をとてとても良い所と思っているが、利便性が悪いため今後暮らす事を悩んでいる。子育てをするにも学習させるために子供は外に出る事になる。環境（空気や水）以外にも人の流出等も考えてもらいたい。【女性・50歳代】